



2026.4.30

船長よりファンド仲間の皆さまへ

代表取締役社長 澤上 龍

おかげさまで新年度を迎え、私たちは多くの新しい仲間(社員)と共にフレッシュな気持ちで邁進しております。全国47都道府県にて年2回以上の対面セミナーの実施、2027年リリース予定の新WEBサービスの開発、動画番組、その他各種プロジェクトの推進など、ファンド仲間の皆さまとの接点を何より大切に、増強を図っています。また海外視察や研修など視野を世界に広げ、交流を通じて個々の人間力を高めることも充実。心優しくも本気で突っ走る社員に恵まれ、とても良い雰囲気で行き渡す日々を過ごすと同時に、プロとしてのピリツとした空気を忘れることもありません。

最優先事項である運用パフォーマンスの向上については、柔軟に議論を重ねています。実体経済と金融市場との乖離に懸念を抱きつつも上値の可能性を否定せず、現場では健全な意見が飛び交っている様相です。皆さまのさわかみファンドは現在まで、創業者の意向もあり暴落にベツトしている状況ですが、それとは違う次元でも常に「広く・深く・遠く」思案と活動を続けています。投資先企業との不断の経営面談も実施するなど、10年先を見据えて対応を急いでいる所存です。本年度は、さわかみ投信らしさを益々追求してまいります。

今月の航海日誌

取締役最高投資責任者 黒島 光昭

皆さまのさわかみファンドは基準価額が先月末比+5.6%の47,992円でした(4月28日)。株式市場の過熱感に警戒しています。イラン情勢をきっかけに物価高を一般生活者の肌感覚で感じます。一方で各国中央銀行は景気悪化懸念で金融引き締めが出来ず。その結果、価値が目減りするのを嫌った資金が株式市場に流入する図式です。このようなテーマ型のマーケットに左右されず企業本来の価値に注目して、皆さまのご資産をお守りしながら着実に増やす方針に変化はありません。中東紛争後の復興をイメージする場合、無くてはならないものは水です。中東諸国は人口が急増する一方、深刻な水不足国が集中し人口の8割が影響を受けています。沿岸部では海水淡水化が進み世界生産量の4割以上を中東が占めます。淡水化に必要な水処理膜や高圧ポンプ、これらを組み合わせで設計するプラント企業を精査しています。4月中旬には国立研究所の再生可能エネルギー研究センター(福島県)をファンド仲間39名と見学しました。最先端の研究者の講演を拝聴しつつ、燃えるメタンハイドレートを観察し、超臨界地熱発電の一次情報に触れることでエネルギー自給のヒントを得ることが出来ました。(4月28日)

※さわかみファンドにおけるリスク・手数料については、ページ⑥に記載の「ご留意事項」をご覧ください。

ファンド情報 2026年4月28日現在

顧客数(直販分)
135,420名(直近1か月 +1,511名)
定期定額購入 契約数
31,715名(全体比23.4%)

定期定額購入サービススケジュール

受付締切日 (金額変更・中止)	2026年 5月19日(火)
振替日 (引落日)	2026年 6月1日(月)
約定日 (買付日)	2026年 6月9日(火)

約定日(買付日)とは…
振替日に引き落とされた金額によって、実際に『さわかみファンド』の買付が行われる日(約定日の基準価額が約定価額となります)

さわかみ投信からのお知らせ




紹介する方(紹介者)・
紹介される方(被紹介者)それぞれ

**投資先企業との
コラボ景品他を
プレゼント!**

リンクの発行は特設サイトから/
特設サイトはこちら
【紹介受付期間】
3月2日(月)~6月30(火)



ご不明点は、お気軽にお問合せください。

 ご縁の窓口 **03-6706-4789**